

氏名	筒井 大祐
研究テーマ	『八幡愚童訓』の生成と展開に関する基礎的研究
研究概要	本研究は、日本文学をはじめ、宗教文化史や歴史学などの学問分野を超えて研究対象となっている、八幡信仰の基礎資料である『八幡愚童訓』のテキスト研究を行うものである。『八幡愚童訓』の関連資料や内容分析を通して、その生成と展開の解明を目的とする。

1. 研究活動の概要と研究成果	<p>本研究課題は、日本文学を始め、宗教文化史や歴史学など、学問分野を超えて研究対象となっている八幡信仰の基礎資料である『八幡愚童訓』のテキスト研究を行うものである。『八幡愚童訓』は、八幡信仰の基礎資料とされながらも、それ自体の生成や展開を検討したテキスト研究は、いまだ十分に行われていない。また、『八幡愚童訓』は、中世期の八幡縁起類の生成と展開を検討する上でも、重要な資料であるため、中世における八幡縁起の研究にあたり、そのテキスト研究は必要不可欠である。そこで本研究では、『八幡愚童訓』の基礎的なテキスト研究として、関連資料の収集や、その内容分析を通して、『八幡愚童訓』の生成と展開に関する基礎的研究とする。なお、本研究課題は、2018年度から4年の計画で、科研費（若手研究）に採択された。今年度は、科研費を用いて、『八幡愚童訓』の諸本のコピー収集や撮影機材、関連書籍など、研究の備品整備に充てた。</p> <p>また7月にフランス・パリで開催された国際ワークショップ「八幡縁起、その流伝と変容—絵巻・神話・地域社会—」に招待され、口頭発表を行った。この発表では、『八幡愚童訓』の古態本文を解明する目的で、『八幡愚童訓』の本文を引用する足利義教奉納の絵巻に用いられている、『八幡愚童訓』の本文系統を検討した。</p>
2. 学術論文・学会発表等	<p>①資料紹介：「藤崎八幡宮加藤家奉納本八幡大菩薩御縁起下巻」、『京都語文』第26号、共著、佛教大学国語国文学会、2018年11月。「翻刻石清水八幡宮本『八幡宮寺巡拝記』後」、『佛教大学大学院紀要』第47号、佛教大学大学院、2019年3月。</p> <p>②口頭発表：「八幡縁起絵巻と『八幡愚童訓』甲本—『八幡愚童訓』甲本の古態本文解明に向けて—」、頭脳循環を加速する戦略的国際研究ネットワーク推進プログラムによる国際ワークショップ 西欧の日本学研究者とのネットワークを通じた日本人若手研究者の国際化—絵写本・版本研究を中心として「八幡縁起、その流伝と変容—絵巻・神話・地域社会—」、フランス・パリ BULAC、2018年7月12日。</p>
3. 競争的資金への応募と採択	研究課題「『八幡愚童訓』の生成と展開に関する基礎的研究」、科研費（若手研究）採択、研究期間：2018年4月 - 2021年3月。
4. 今後の課題	研究課題である「『八幡愚童訓』の生成と展開に関する基礎的研究」は、科学研究費（若手研究）での課題でもあるため、今後も諸本の検討や関連資料を用いた生成と展開に関する研究を進める。